

公民館だより なかがわ

第520号

令和8年2月27日
発行 中川地区公民館
TEL.Fax : 679-2501

【一般講座】

参加者募集

3月「春のフラワーアレンジメント教室」

日時：3月24日（火）10：00～12：00頃
場所：中川地区公民館 集会室
講師：つかさ花店さん
内容：春の生花を使ったアレンジ
持ち物：花切はさみ、持ち帰り用袋
材料費：2,700円（花器付き）
（つり銭のないようにお願いします）
対象：中川地区民
定員：15名程度
締切日：3月9日（月）

※昨年3月の
アレンジです。



※令和8年度の【一般講座】は5月より開催いたします（4月の館報にて募集）

お申込み・お問合せ：中川地区公民館（☎679-2501）

3月・4月 行事予定



3/3(火) 施設訪問（職員不在時間あり）
会長会、公民館運営協議会
3/4(水) 中川食改総会
3/10(火) 中川地区監査
3/13(金) 会長会、公民館運営協議会
3/17(火) そば打ち愛好会
3/19(木) 令和8年度新会長顔合会
3/24(火) 一般講座「フラワーアレンジメント教室」
3/27(金) パソコンクラブ

4/1(水) 市報、館報
4/3(金) 会長会総会、協議会総会
中川地区合同懇談会
4/6(月) 子ども会育成会
4/8(水) 中川小学校・山形盲学校・北中学校入学式
4/10(金) ウォーキング教室（職員不在時間帯あり）
福祉村実行委員会
4/13(月) 体育部会
4/14(火) パソコンクラブ
4/17(金) 中川地区戦没者追悼式
4/20(月) 中川福祉村村議会、議会報告会
4/21(火) 地区公民館職員合同会議（職員不在時間帯あり）
4/24(金) そば打ち愛好会

※4月の日程については、変更となる場合もあります。

詩吟教室（火曜日）	3/3、10、24	スポーツ麻雀愛好会	
ラージピンポン愛好会		（木曜日）	3/5、12、26
（木曜日）	3/5、12、19、26		



令和 8 年度会員募集!



4月からスタートする各種会員を募集します
(詳しい内容は、地区回覧チラシをご覧ください。)

各会	初回日	開催月・曜日など	年会費・参加費・その他
グラウンド・ゴルフ愛好会	4/6(月)	4月~11月・毎週月曜日	内容により参加費あり
ラージピンポン愛好会	4/9(木)	通年・毎週木曜日(午前)	無料
スポーツ麻雀愛好会	4/9(木)	通年・毎週木曜日(午後)	無料
そば打ち愛好会	4/24(金)	通年・月1回	材料代 500g 500円
パソコンクラブ	4/14(火)	通年・月1回	無料・12名まで
詩吟教室	4/14(火)	通年・月3回	無料
ウォーキング教室	4/10(金)	4月~10月(8月除く)・月1回	内容により参加費あり

中川粋いき倶楽部(5月開講)会員募集!

中川地区の65歳以上の方を対象に、会員さん同士や地域の子供達と交流を通して、楽しく笑いのある生き生きとした人生にしていくことを目的とした倶楽部です。詳細は、地区回覧チラシをご覧ください。
締切日: 3月27日(金) ※開講式は、5月26日(火)を予定しております。

お申込み・お問合せ: 中川地区公民館(☎679-2501)

【一般講座】「コメ袋でエコバックを作ろう!」

1月27日(火)一般講座「コメ袋でエコバックを作ろう!」では、米袋バッグ工房「とあーる」とみたりえこさんを講師にお迎えし、10kgのコメ袋から大小のエコバックを作りました。説明を受けながら、切って折って穴をあけ、ボンドで貼って、自分で選んだカラフルな持ち手を付けて、またボンドで貼って…と細かい作業がたくさんありましたが、みなさん大変ながらも楽しそうに作成していました。最後に、できたバッグに先生手づくりのハンコを押して、素敵なエコバックができました!



中川粋いき倶楽部開講式

2月10日(火)「令和7年度中川粋いき倶楽部開講式」が開催されました。来賓の地区会長会佐藤 友治会長よりご挨拶いただいた後、事業報告、決算見通しを報告し承認されました。令和8年度の事業計画について、たくさんの意見を出していただき、最後に、会員の皆さんにひと言ずつ1年間の感想をお伺いし、「毎年、施設見学が楽しみ!」「全部参加した。来年度も楽しみにしている」「来年度はもっと参加したい!」など、うれしい言葉をたくさんいただきました。終了後、ふじや旅館に場所を移しておいしい昼食をいただき、温泉で日頃の疲れをリフレッシュし楽しい時間を過ごしました。来年度も、会員の皆さんに楽しんでいただける事業を考えていきたいと思っております。



令和7年度「笑いと健康のつどい」開催!



2月7日(土)、中川地区会長会主催の「笑いと健康のつどい」が山形落語愛好協会より2名の講師をお迎えして開催されました。今年も館報やチラシで参加者を募り、多くの方に来ていただきました! 初めに、主催者である中川地区会長会 佐藤 友治会長より、あいさつと講師の紹介が行われました。トップバッターは、中川地区公民館では初めてとなる協会の演目研究室長 石々亭 註馬 師匠の「掛け取り」。本編に入る前のマクラでは中川地区に合わせた話題で盛り上がりました。次は、ほんわりと滑らかな口調で聞き取りやすい声の、濃紺亭 らん朝 師匠の「時そば」。本当におそばを食べているような臨場感がありました! 仲入りを挟んで、濃紺亭 らん朝 師匠の「動物園」。そしてトリは、石々亭 註馬 師匠の「雑俳」。それぞれ個性豊かな話しぶりで終始会場を沸かせ、あっという間の時間となりました。「笑う門には福来る」「笑いは百薬の長」ということわざがある通り、笑いには心にも体にも良い、健康効果があると言われています。年に一度の「笑いと健康のつどい」で、たくさん笑って福と健康を手に入れ、今年1年の活力になってもらえれば! と思います。



出前スポーツ教室「シャフルボード」

2月20日(金)、出前スポーツ教室3回目の「シャフルボード」が開催されました。中川地区公民館では久しぶりの「シャフルボード」です。キュー(細長い杖)を使ってディスク(円盤)をコート内に押し、点数の上にディスクを多く留めてチームで得点を競い合うスポーツです。初めての方もいて、最初はなかなか得点が入らず苦戦しましたが、2回戦からは点数を狙ったり、敵チームのディスクを外に出したりできるようになりました。「楽しい♪」「何回もやりたい!」との声上がり、3回戦まで対戦して皆さん楽しんでいました♪



おらせ

中川地区農業者等トレーニングセンターの廃止について

長年にわたり、地区の皆様にもご利用いただいております、中川地区農業者等トレーニングセンターですが、上山市公共施設等総合管理計画に基づき、令和8年3月31日をもって廃止となります。

つきましては、中川地区農業者等トレーニングセンターの施設使用の取り扱いも終了となり、今後は中川地区公民館の事業でのみ使用してまいります。どうぞご理解の程よろしくお願いたします。

「昭和考、問わず語り（その61）」

甲石地区 高橋 正之

日中戦争が長期化し日本政府が苦悩する中、第二次近衛内閣が組閣し、いわゆる南進政策を打ち出します。実はこの政策こそが、後の日米開戦へとつながる導火線となったと言われています。

〈近衛内閣が南進武力行使を打ち出す〉

昭和十五年七月二十二日、第二次近衛内閣が成立、同年七月二十六日の閣議において「基本国策要綱」を決定した。

この要綱は、大東亜新秩序と国防国家の建設方針を定めたもので、「皇国ノ国是ハ八紘ヲ一宇トスル肇国ノ大精神ニ基キ（中略）大東亜ノ新秩序ヲ建設スルニ在リ」とした。政府の公式文書に神がかりの表現が現れた最初だった。

翌日の大本営政府連絡会議で決定された「世界情勢ノ推移ニ伴フ時局処理要綱」は、より具体的で、「速力ニ支那事変ノ解決ヲ促進スルト共ニ好機ヲ捕捉シ南方問題ヲ解決ス」とはつきり南進策を打ち出している。

対外施策は「先ツ対独ノ施策ヲ重点」とし、米国に対しては「求メテ摩擦ヲ多カラシムルハ之ヲ避ク」とはいうものの、対南方問題解決のため「好機ヲ捕捉シ武力ヲ行使ス」と、危険をはらんだものだった。

〈名目は援蒋ルートの遮断〉

日中戦争が長びくにつれて、日本側は武器弾薬その他軍需物資が中国側に運ばれるルートの遮断に躍起となった。

しかし、仏印（フランス領インドシナ）現在のベトナム）やビルマ、そして西北のソ連からのルートには手がつけられなかった。その最大のものが仏印からのルートで、日本側はフランスに国境封鎖と調査団の派遣を申し入れていた。これに対しフランスは、日中戦争に中立の立場であり、日本からの中国に対する宣戦布告がない状態では輸出禁止を行う義務は負えない、との態度をとった。

しかし、カトール・仏印総督は、十五年六月、フ

ランスがドイツに降伏すると、自己の権限で蒋介石政権向け武器弾薬とトラック、ガソリンの仏印経由の輸送禁止を決定・実施し（六月十七日）、六月二十日、日本側監視団の派遣にも同意した。

〈南進策実現の足がかりへ〉

この間に、第二次近衛内閣が成立し、フランス側ではカトールに代わってドゥーが総督に任命された（七月十六日）。ドゥーは、正式な外交路線で日本政府と交渉することを具申し、松岡外相と駐日アンリ仏大使との間で、北部仏印の進駐に関する公文が交換された。

そして、この進駐に関する細目は、六月二十九日にハノイ入りしていた「援蒋物資輸送禁絶監視団」の团长・西原一策少将と現地仏印機関が交渉して決めることになった。

援蒋ルートの遮断から始まった北部仏印進駐に、近衛内閣の「世界情勢の推移に伴う時局処理要綱」（七月二十七日決定）の「帝国ノ必要ナル資源ノ獲得ニ努ム情況ニヨリ武力行使スルコトアリ」という方針が絡んできた。日本は、この進駐を南進策実現の足がかりとして利用する方向に進んだのである。

そして、九月四日、仏印軍司令官マルタンとの間で「西原・マルタン協定」が結ばれた。進駐日時などの細目の協議中、南寧作戦から中国領内を仏印国境近くに進出していた第五師団の一部が越境するという事件が起こった。

交渉はいったん振り出しに戻ったが、九月二十二日午後四時半、協定の署名が終わった。この協定は、日本のトンキン州の飛行場の使用、日本軍の駐屯（兵力六千人以下）からなるものであった。

〈平和駐留が一転、流血の武力進駐に〉

西原監視団長がめざした外交交渉による進駐は実現するかに見えたが、第五師団が九月二十三日午前零時、仏印側のドンダン要塞を攻撃、さらに二十四日、フランスを攻撃し、二十五日仏印守備軍は降伏した。現地に派遣されていた参謀本部作戦部長ら武力進駐をめざす強硬派は、大本営の命令を無視してこの攻撃を実施させたのである。

また、九月二十六日、第五師団の戦闘を知った印度支那派遣軍は、協定を無視して敵前奇襲上陸を強行し、護衛に当たった海軍は、この部隊をハイフォンに置き去りにした。

現地陸軍の専横に怒った西原团长は、二十六日夜、第二遣支艦隊の旗艦「鳥海」から「統帥乱れて信を中外に失う、今後の收拾に関し小官等必ず東京に帰り報告の必要ありと確信す」という電報を打った。

〈英米との亀裂が深まる〉

日本の北部仏印進駐に対して、アメリカ力は、屑鉄の対日全面禁輸を発表（九月二十六日）、英国は閉鎖していたビルマ・ルートを再開（十月十八日）。米英との亀裂は更に深まっていった。（昭和二十万日の全記録）講談社刊より。写真①は第二次近衛内閣の組閣の状況。写真②は、組閣の三ヶ月後に行われた「警沢は敵だ」のデモ行進の様相。いずれも同誌より。）

（次回は、日米交渉の行き詰まりと米国による経済制裁の発動について記述する予定です。）



(写真①)



(写真②)